

パンタナール通信

南北米福地開発協会 会報 第2号 2003年11月1日発行



レダの自然に触れ、心身の活力が漲る！！ 人間と自然との共生

地球の裏側、南米大湿地帯パンタナールにてひと時、自然に触れ、奉仕で汗を流してみませんか。

とりわけ十九世紀から二十一世紀にかけての科学の発達は、日本人をして地域社会での生き方から地球規模での生き方に大きく拡大されてきました。通信技術、コンピュータ、電話、テレビ、交通機関などの飛躍的発展は、人や物が世界的に交流する中で外的变化だけでなく、様々な文化や歴史に触れ、内的にも大きな影響を受け、変化してきました。
それは必ずしも発展ばかりでない負の部分もあらゆる所に生まれ拡大されてきました。
そして今や各人の幸せや理想の世界を真剣に求めれば、エゴの主張や闘争による解決の道は最早完全に限界に至り、逃避や孤独の中にはじめていることも許されず、共生と共存、共栄の道が唯一希望の道として人類に与えられていることが知られるようになってきました。

地球はそれ 자체だけでは存在できません。太陽や月等の宇宙の微妙なバランスの中に自転し且つ公転しながら存在しているのです。それと同じように人も一人で生きているのではなく、互いに助け合い、協力し合って生きています。それは正に個と全体という二重目的の中に、あらゆる人も万物も宇宙森羅万象が生かされています。こうしたことを踏まえて、最近とみに地球規模で環境問題が何故叫ばれるようになったのか、私達とのように関わりがあるのかを考え、具体的に当会が今迄何をして来て、何を目指しているのかをご紹介しながら、皆様の人生に新しい光明を示し、社会により貢献出来る道を共に歩むことが出来ましたらと願い、一日研修会を開くことになりました。

古いも若きも、男も女も世代を超えて学び合い、世界の人々と手を携え合えたらと祈念しております。皆様のご参加を衷心よりお待ち致しております。

11月研修会

『地球規模で起きてる様々な問題に私達はどう対処して言つたらいいのか』

日時 11月8日(土) 10:00 - 18:00

場所 当会事務局研修室

参加費 4000円(昼、夜弁当付)

申込みは名前と年齢を記入し、11月5日までにFAXにてお送り下さい。(紹介者名もお願いします。)

『地球で何が起こっているのか』 山岡講師

『何故パンタナールに木を植えるの?』 高津講師

『レダ基地展望と今後』 飯野講師

その他 3講座

入会案内

〒150-0001
南北米福地開発協会事務局

東京都渋谷区神宮前6-19-14
神宮前ハッピービル10F

電話番号 03-5774-0544
ファックス 03-3407-0145
担当 柴沼邦彦

南北米福地開発協会は南北米パンタナールを中心とした様々なボランティア活動を行っていますが会員募集をしています。詳細は事務局へお尋ね下さい。又、入会申込み書及びパンフレット等のご案内は事務局に用意しております。入会され毎月500円の会費を納められた方には『パンタナール通信』、講演会、エコツアー、研修会などの催しや、会の様々な情報を毎月お送りします。

地球の真裏、パラグアイの人と協働して！



『環境保護と持続可能な開発』

南北米福地開発協会では南米パントナール湿地帯の一部レダ地域に人間と自然の共生するモデル地域を建設するため、四年前から神山会長が現地に直接行かれ、指導してこられました。

レダ近郊は自然の宝庫であり、十月には敷地内にあるパラグアイ河支流に羽を広げれば2mにもなるトウココガ数百羽、その美しい姿を見ることが出来ます。夜、「全ての明かりを消して、満天の星を見れば、天の川の星雲や南十字星、無数の星の輝きに酔いしれ、その星の輝きの間に無数輝く虫が点滅しながら飛び回るのを見る時には幻想の世界です。騒々しい文明世界から離れ大自然の懷に包まれる体験は何物にも変えられません。地平線に美しく現れる朝日、夕には燃える炎のように沈んでいく夕日に神様の創造の妙を肌で感じ、敬虔な気持ちが我知らず啓発されます。もちろん、自然は時には過酷で、四ヶ月も雨が降らない乾季、五十度を超す太陽の激しさ、突然起くる風速七十mになる突風と洪水のように降る雨も体験します。その様な環境の中で自然と人間が共存でき、自然を破壊することなく、貴重な生態系を守り、近隣に住むインディヒナの人々の生活改善に心を碎居てきました。皆様とともに開発』のモデルを建設できる事を願つています。(柴沼記)

レダ農場にて

